

## 終わりに

クビアカツヤカミキリの被害は瞬く間に全国的な問題となってしまいました。被害の深刻な場所では少し街中や園地を見回るだけで、オレンジ色のフラスにまみれた、この先の枯死を防ぐことが難しくなる木を見つけることができます。しかし、難防除の外来種であっても、科学的に効果が高いと認められた防除方法を用いて、計画と検証をしっかりとしながら対策を進めることで、被害の進行を食い止めていくことが十分可能になってきました。本マニュアルをクビアカツヤカミキリ被害拡大への反撃の狼煙<sup>のろし</sup>とすることが、当プロジェクトに関わったコンソーシアムの参画者一同の悲願です。

本種の対策は、被害地に直接関係する一部の人だけで進められるものではありません。被害エリアを正確に把握するための探索や幼虫・成虫の駆除活動に、本種の被害の恐ろしさを知る様々な立場の人が継続的に関わっていくことで、はじめて有効な対策が可能になっていきます。本マニュアルが地域のすべての関係者のご理解の一助になることを願っております。

クビアカツヤカミキリの被害は、外来種としての環境問題、農業被害の問題、街路樹管理の問題、緑地・公園管理の問題とさまざまな側面を持ちます。それらの問題を横断的に繋ぎ、連携して被害対策や普及啓発を行っていくためのツールとして、本書を積極的にご活用ください。

本マニュアルは農研機構生研支援センター

イノベーション創出強化研究推進事業

30023C

「サクラ・モモ・ウメ等バラ科樹木を加害する

外来種クビアカツヤカミキリの防除法の開発(2018～2021年度)」

の成果をもとに作成しました。

【クビアカツヤカミキリコンソーシアム(プロジェクト参画団体)】

- ・ 国立研究開発法人森林研究・整備機構
- ・ 徳島県立農林水産総合技術支援センター
- ・ 栃木県農業試験場
- ・ 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所
- ・ 日本大学 生物資源科学部
- ・ 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 植物防疫研究部門
- ・ 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会
- ・ 株式会社マップクエスト
- ・ 和歌山県
- ・ 愛知県森林・林業技術センター
- ・ 大日本除蟲菊株式会社